

研究助成金, 海外派遣・招聘補助金受領者一覧

(受領者の所属等は申請時)

第1回(昭和55年度)研究助成金, 海外派遣・招聘補助金受領者

I 研究助成金(総額:560万円, 1件80万円, 7件)

ポリアミンによる蛋白合成調節機構	千葉大・薬・助教授	五十嵐 一 衛
複素環骨格の反応特性を利用する有機合成化学的研究	東大・薬・助教授	国 枝 武 久
高速液体クロマトグラフィーによる胆汁酸の臨床分析化学的研究	東北大・薬・助手	後 藤 順 一
エルゴットアルカロイド及び4位置換インドール化合物の合成研究	金沢大・薬・助教授	染 井 正 徳
動物細胞ホスファチジルセリンの代謝機能に関する酵素学的及び遺伝生化学的研究	予研・生物化学室長	西 島 正 弘
発癌性ジアシルニトロサミンの代謝活性体の化学	東京生化研・主任研究員	望 月 正 隆
大麻有効成分の生化学的薬理学的研究	北陸大・薬・講師	渡 辺 和 人

II 研究者の海外派遣補助金(50万円, 1件)

理論物理学から生物学へ '81.6.21~27 於 仏国 Thonon	東大・薬・教授	清 水 博
-------------------------------------	---------	-------

III 海外からの研究者招聘補助金(50万円, 1件)

日本薬学会第101年会 56.4.2~4 於 熊本	ジョンズ・ホプキンス大医・教授	石 坂 公 成
---------------------------	-----------------	---------

第2回(昭和56年度)研究助成金, 海外派遣・招聘補助金受領者

I 研究助成金(総額:1,000万円, 1件100万円, 10件)

エナミドの還元的光閉環反応とアルカロイドの不斉合成	神戸女薬大・助教授	内 藤 猛 章
生ワクチン株ポリオウイルスの遺伝子欠損株に関する研究	北里大・薬・助教授	野 本 明 男
大腸菌 H ⁺ 輸送性 ATPase (ATP 合成酵素) の分子生物学的研究	岡山大・薬・助手	金 沢 浩
キララなシンソンの構造特性を駆使した抗腫瘍性天然有機化合物の不斉合成研究	東大・薬・助手	富 岡 清
イリドイド類のイリダン骨格形成機構について	京大・薬・助手	上 里 新 一
薬物代謝に関与する新電子伝達系	広島大医・助手	北 村 繁 幸
形質膜酵素 5'-nucleotidase の生合成と細胞内局在化機構に関する研究	九大・薬・助手	姫 野 勝
動物細胞の細胞膜透過性に及ぼす ATP の作用	国立予防衛生研・室長	北 川 隆 之
中枢におけるアセチルコリン受容体の存在と機能的役割に関する神経化学的研究	福岡大・薬・助手	高 野 行 夫
生体アミンの高感度発けい光分析に関する研究	東大薬・助手	中 村 洋

II 研究者の海外派遣補助金(総額150万円, 4件)

第12回国際生化学会議 '82.8.15~21 於 オーストラリア	神戸大医・教授	木 幡 陽
第14回国際クロマトグラフィーシンポジウム '82.9.13~17 於 イギリス	岐阜県衛生研・主任技師	岡 本 光 美
第13回国際癌会議 '82.9.8~15 於 アメリカ	肺癌研癌化学療法センター・部長	塚 越 茂
第3回世界核医学会議 '82.8.29~9.2 於 フランス	帝京大薬・助手	小 島 周 二

III 海外からの研究者招聘補助金(総額50万円, 1件)

日本薬学会第102年会 57.4.3~5 於 大阪	ハワイ大化・教授	Paul J. Scheuer
---------------------------	----------	-----------------

第3回（昭和57年度）研究助成金，海外派遣・招聘補助金受領者

I 研究助成金（総額：1,200万円，1件100万円，12件）

肝上清蛋白リガンドの薬物解毒過程におけるマルチファンクショナルな役割の解明	東大・薬・助手	杉山雄一
特異的相互作用をする薬物オリゴヌクレオチド分子複合体についての構造化学的研究	阪大・薬・助手	藤井敏
細胞認識における膜タンパク質，脂質相互作用の意義に関する研究	昭和大・薬・助教授	内海英雄
モデル錯体による薬物代謝酵素チトクロム P-450 の構造と反応性のシミュレーションおよび薬物酸化反応の予測	徳島大・薬・助教授	桜井弘
酸化的脱炭酸反応を用いた糖質から生物活性アミノサイクリトールオリゴ配糖体への化学変換	阪大・薬・助教授	吉川雅之
有機金属錯体を用いるヘテロ環の合成—薬理活性化合物の合成への応用—	北大・薬・助手	森美和子
肝ミクロゾームチトクロム P-450 の薬理学的毒性学的研究	慶大・医・助教授	鎌滝哲也
サイクリックAMP依存性プロテインキナーゼの構造・機能と生物学的意義	熊大・薬・助手	庄司省三
定まった構造の疎水内孔を有する人工ホストによる反応場の制御—酵素アナログへの応用研究—	東大・薬・助手	小田嶋和徳
有機ケイ素原子を活用する新反応の開発研究	京大・化研・技官	落合正仁
細胞表面での抗原認識の分子機構	東大・薬・助手	中西守
生理活性物質の合成研究	帝京大・薬・助教授	柴崎正勝

II 研究者の海外派遣補助金（総額：150万円，4件）

国際サブスタンスPシンポジウム '83.4.27~29 於 アイルランド	広島大・薬・教授	瀬川富朗
第7回大環状化合物に関する国際シンポジウム '83.8.8~10 於 アメリカ	広島大・薬・教授	木村栄一
味覚と嗅覚に関する第8回国際シンポジウム '83.8.23~26 於 オーストラリア	北大・薬・教授	栗原堅三
ポリアミンに関するゴードン研究会議 '83.7.12~17 於 アメリカ	東京生化研・主任研究員	鮫島啓二郎

III 海外からの研究者招聘補助金（総額：150万円，1件50万円，3件）

日本薬学会第103年会 '83.4.4~6 於 東京	マサチューセッツ工大・教授	K. B. シャープレス
第5回製剤の開発と評価シンポジウム '83.10.5~6 於 名古屋	フロリダ大・薬・教授	J. H. ベリン
第15回薬物代謝と薬効，毒性シンポジウム '83.11.10~11 於 広島	フロリダ大・薬・教授	N. ボーダー

第4回（昭和58年度）研究助成金，海外派遣・招聘補助金受領者

I 研究助成金（総額：1,000万円，1件100万円，10件）

デルタ睡眠誘発ペプチド DSIP の鎮痛作用に関する研究	福山大・薬・教授	塩見浩人
カテコールアミンレセプター系機構の細胞分子薬理学的研究	広島大・医・助教授	野村靖幸
制癌薬物による選択的 DNA 塩基認識と切断の分子機構	京大・薬・助教授	杉浦幸雄
中枢神経系における細胞膜チアミンの生理的意義に関する研究	阪大・薬・助手	松田敏夫
腎尿管上皮細胞における薬物のキャリアー輸送機構	京大附属病院・助手	乾賢一
酸素化学的アプローチによるカルバペネム系抗生物質及びアミノ配糖体抗生物質の合成研究	東大・薬・助教授	小林進
N ^ε アミノシチジンによる突然変異の機構の研究	岡山大・薬・助手	根岸和雄
胃粘膜のセルフェンシブメカニズムの実体解明と内因性プロスタグランジンによる調節	京都薬大・講師	竹内孝治

新規環化反応エナミン アンニュレイションおよびスルフェノーサイクロアミネイションを

用いる含窒素有機天然物の合成研究

東北大・薬・助教授 井原正隆

新しい第一級アミノメチル化剤の開発とその生物活性物質合成への応用

静岡薬大・助手 森本俊明

II 研究者の海外派遣補助金（総額：150万円，3件）

第3回国際炎症学会議 '84.9.3~8 於 フランス

東北大・薬・教授 鶴藤 丞

第3回生物発光及び化学発光法の分析的応用に関する国際シンポジウム '84.4.17~19 於 イギリス

昭和大・薬・教授 辻 章夫

第10回 IUPAC 光化学シンポジウムおよびレーザー光化学ワークショップ '84.7.22~27 於 スイス

金沢大・薬・教授 伊藤道也

III 海外からの研究者招聘補助金（補助金総額：75万円，1件）

日本薬学会第104年会 '84.3.28~30 於 仙台

米ベイラー医科大学・教授 サリー，J.ワキール

IV その他の薬学振興事業に対する助成（補助金総額：200万円，1件）

第9回国際複素環化学会議 '83.8.21~26 於 東京

第5回（昭和59年度）研究助成金，海外派遣・招聘補助金受領者

I 研究助成金（総額：1,200万円，1件100万円，12件）

日周リズムに対する抗うつ薬の作用に関する神経薬理的，行動薬理学的研究 九大・薬・助手 柴田重信

活性化されたヒト c-H-ras 遺伝子による細胞がん化機構の解明

国立がんセンター・部長 関谷剛男

神経情報伝達機構における尿素回路の機能的役割に関する研究

摂南大・薬・助教授 米田幸雄

新反応の開発とその応用による主に中環状天然有機化合物の合成研究

北大・薬・助手 大沼毅

多重官能性炭素化合物の合成とその応用

富山医薬大・助教授 竹内義雄

老化に伴う雄ラット肝薬物代謝能力の雌性化とその要因の解明

千葉大・薬・助教授 藤田正一

オピオイド・ペプチドの合成及びその構造活性相関研究

京薬大・教授 木曾良明

大腸菌膜結合ホスホリパーゼの遺伝生化学的研究

東大・薬・助手 工藤一郎

電気化学検出高速液体クロマトグラフィーによる体液中微量成分の分析

東北大・薬・助教授 島田和武

アレンを中間体とする分子内ディールス・アルダー反応による生理活性化化合物の合成

九大・薬・助手 早川謙二

ペプチド性神経伝達物質の受容体機構の解明

東京医歯大・医・講師 小西史朗

覚醒薬メタアンフェタミン（ヒロポン）および幻覚薬フェンサイクリジンの脳内セロトニン

およびエンドルフィン系におよぼす影響

名城大・薬・助教授 鍋島俊隆

II 研究者の海外派遣補助金（総額：200万円，1件50万円，4件）

第45回国際薬学会 '85.9.2~6 於 モントリオール

名城大・薬・教授 奥田潤

第2回国際メタロチオネイン会議 '85.8.21~24 於 チューリッヒ

国立公害研究所・室長 鈴木和夫

第13回国際生化学会 '85.8.25~30 於 アムステルダム

東北大附属病院・教授 水柿道直

第9回国際カラム液体クロマトグラフィーシンポジウム '85.7.1~5 於 エジンバラ

広島大・医・教授 吉田久信

III 海外からの研究者招聘補助金（総額：225万円，1件75万円，3件）

日本薬学会第105年会 '85.4.3~5 於 金沢

ミュンヘン大学・生物薬学・教授 マインハート，H.ゼンク

日本薬学会支部特別講演 '85.10.26~11.8

東ドイツ科学アカデミーセンター長・植物生化学研究所長 クラウス・シュライバー

第7回メディシナルケミストリーシンポジウム '85.12.2~3 於 岐阜

米国ミネソタ大学・薬品化学科教授 フィリップ・ポートギス